

# 迎春

## 新年のご挨拶

有田川町長 中山正隆

新年明けまして、おめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は町政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内外でさまざまな出来事がございました。秋篠宮家の長女・眞子さまが小室圭さんとのご婚約を発表され、祝福ムードに包まれました。一方、九州北部の集中豪雨や度重なる台風の上陸など、日本各地で多くの災害が発生し、多くの方が被災されました。

そのような中、当町ではかねてより推進してまいりました、エコなまちに向けての取り組みが各界で評価され、「新エネ大賞」資源エネルギー庁長官賞や「プラチナ大賞」審査委員特別賞、「わかやま環境賞」環境大賞を受賞いたしました。これも徹底したごみ分別をはじめとする町民の皆さまのご協力の賜物であります。さらに昨年は、これまでの絵本によるまちづくりに加え、生産量日本一を誇るぶどう山椒のブランド化に向けた取り組みなど、町の資源を最大限に生かすまちづくりを行ってまいりました。

今後、有田川町では避けられない課題を多く背負うこととなります。こうした中であつても、子育てがしやすい環境整備や、学校教育の充実などに取り組みながら、町民の皆さまがいつまでも安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。また、県下では「高野山有田川流域の伝統的農林業システム」について、日本農業遺産の認定を目指す取り組みもはじまつており、農林業分野や観光においてもさらなる発展を目指します。

これからも「人が集い、想（おも）いを紡ぎ、新しい流れをつくるまち」の実現を目指し、よりいっそう町政の運営に尽力してまいります。これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆さまお一人お一人にとって、幸多い年でありますように祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 平成三十年 新年ごあいさつ

有田川町議会議長 湊正剛

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。

平成18年にスタートした有田川町も誕生から丸12年がたち、皆さま方のご協力と温かいご支援により、新しいまちづくりが着々と進んでおります。

さて、昨年を振り返りますと、さまざまなことがありました。当議会においては、十一月に森本明議員がお亡くなりになるという衝撃的な出来事があり、議員一同、言葉に言い尽くせないほどの深い悲しみに包まれました。一方、国内では台風や集中豪雨により大きな風水害が発生し、被災された方も多くおられます。そういった状況のなか、本町においては、住民の皆さまが安心して暮らせる町、そして豊かな住みよい町の実現を目指して、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

そのような中、わが町では新年早々1月末に、有田川町として4度目となる町長選挙、町議会議員選挙が実施されます。

地方分権の進展に伴い、議会の役割がこれからはますます重要になってくる中で、今後の町政を左右する大切な選挙となりますので、棄権することなく、皆さま方の清き一票を投じていただきたいと思います。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、わが町においても今後ますます行政運営の困難さが増していくものと思われまふ。そうした中にもありまして、町民の代表としての認識に立ち、町民皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、議会としての役割を果たし、全力を尽くしてまいりたいと思ひます。どうか、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、またますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。